

## 【吉凶のないおみくじ?】天祖神社×成蹊大学文学部日本文学科 「天祖神社歌占」に新たな歌占が追加

成蹊大学（東京都武蔵野市、学長：北川浩）文学部日本文学科 平野多恵教授と天祖神社（東京都板橋区南常盤台）は、2015年1月より共同で同神社のオリジナル和歌みくじ「天祖神社歌占」を制作するプロジェクトを進めています。現在は16の神様の歌占がありますが、この度、新たな神様の歌占が加わることになりました。12月27日（金）には、新しい歌占を神様に奉納する「歌占奉納祭」を天祖神社で執り行うほか、1月1日（水）～3日（金）、12日（日）、13日（月）は成蹊大学文学部日本文学科のプロジェクトによるパネル展示が行われる予定です。

### 【吉凶がない和歌のおみくじ「歌占」】

「歌占」とは神様のお告げを和歌で示すおみくじです。むかしから日本では神様は和歌でお告げを示すと考えられてきました。古くは巫女などの巫者が和歌を解釈していましたが、時代が経過していく中で、あらかじめ和歌を解釈した上で吉凶が記された現在のようなおみくじが一般化していきました。

### 【天祖神社歌占とは】

「天祖神社歌占」は、天祖神社の神々のご縁を結べる同神社オリジナルの和歌みくじです。このおみくじに関わる活動には、成蹊大学文学部日本文学科の教員（プロジェクト代表者：平野多恵教授）と学生・大学院生が協力しています。現在までに16の歌占が制作され、多くの参拝者に親しまれています。

この歌占には江戸時代につくられた「天岩戸開」絵馬（天祖神社蔵、板橋区登録文化財）に描かれた神々や狛狼像（御嶽神社蔵、板橋区登録文化財）のおみくじも含まれており、日本古来の信仰に基づく地域の文化財を現代的に活用する取り組みです。

室町時代～江戸時代に行われていた作法通り、呪歌を唱え、弓の弦に結びつけられた和歌の短冊を選ぶユニークさも相まって、多くのメディアに取り上げられています。



弓の弦から歌占の短冊をひく

### 【新しい神様の歌占が追加】

今回、歌占に新しく加わる神様は「倭建命（やまとたけるのみこと）」「おいぬさま」です。当プロジェクトに関わっている天祖神社宮司 小林美香さんが御嶽神社（東京都板橋区桜川）の宮司も務めていることから、「天祖神社歌占」に御嶽神社の神様であるこの2神が加わることになりました。12月27日（金）には、今回新たにつくった歌占を神様に奉納する「歌占奉納祭」を天祖神社で執り行う予定です。

## -歌占奉納祭・企画展概要-

### ●歌占奉納祭（取材可）

日時：12月27日（金）13時00分～13時30分

場所：天祖神社 神楽殿

内容：今回新たに制作した2種の「歌占」を神前に奉納。

※宮司のご祈祷により神様からの「歌占」として完成します。

### ●企画展「天祖神社歌占——倭建命とおいぬさま」

期間：令和2年1月1日（水）～1月3日（金）・12日（日）・13日（月）いずれも

11時～16時

上記日程の内、1月3日（金）、13日（月）のみ取材可

場所：杜のまちや（ときわ台 天祖神社コミュニティスペース）東京都板橋区南常磐台2-4-3

入場：無料

内容：天祖神社歌占の由来や作法、神様に関するパネル展示およびスライド解説

### 学生の神社での奉仕

1月3日（日）、13日（月）の両日は成蹊大学の学生・大学院生が歌占の奉仕や解説をします。

取材・撮影は事前申し込み制です。12月26日（木）13時申し込み締め切り

取材に当たっては、同神社の指示に従っていただきますようお願いいたします。撮影がある場合には個人のプライバシーに配慮していただくようお願いいたします。また、神事の関係から、同神社で対応できないと判断したものについては、お断りする場合がございますので、ご了承ください。

本件に関するお問合せ・取材申込先

成蹊学園 企画室 広報グループ

TEL：0422-37-3517 FAX：0422-37-3704

Email：[koho@jim.seikei.ac.jp](mailto:koho@jim.seikei.ac.jp)